

令和2年度

石部高等学校 学校評価

本年度の重点目標

- ・基礎的・基本的な学力の定着を図り、生徒の進路希望実現に努める。
- ・規律と秩序を大切にし、活力あふれる学校生活の実現に努める。
- ・福祉健康コースの教育内容の充実と地域との連携を図るとともに、特色ある教育活動の情報発信に努める。
- ・各課や学年など分掌間の調整・連携をこれまで以上に密にして、組織力を強化する。

領域	重点評価項目	中間評価(10月)	総合評価(3月)	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1 学校経営	校長は自らの教育理念にもとづいて学校経営を推進している。	B	B	B
	課や学年など分掌間の連携を円滑に行い、全教員の共通理解を図っている。	B	A	A
2 学習指導	家庭学習が定着するよう計画的に宿題を出して指導している。	C	C	C
	わかりやすい授業の工夫に努め、生徒が主体的に授業に参加できるよう取り組んでいる。	A	A	A
3 生徒指導	基本的な生活習慣の確立をめざす指導を適切に行っている。	A	A	A
	社会規範や常識的なマナーを身につける指導を適切に行っている。	B	A	A
	いじめの早期発見・早期対応に努め、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	A	A	A
4 進路指導	個々の進路希望に応じた指導を行っている。	A	A	A
	勤労観・職業観の育成に努めている。	A	A	A
5 特別活動等	生徒は部活動に熱心に取り組んでおり、学校は部活動の活性化に努めている。	B	B	B
	学園祭や生徒会活動等の取組みの充実に努めている。	A	A	A
6 学校図書館	図書に関する情報提供の充実に努めている。	B	B	B
	生徒にとって身近な存在になるよう、教科やホームルーム等で図書館を積極的に利用している。	C	B	B
7 保健・安全指導	生徒の健康管理と病気の予防に努めている。	A	A	A
	事故・ケガ・病気等への対応を適切に行っている。	A	A	A
8 人権教育	教育活動全体を通して、人権教育を推進している。	A	A	A
	様々な事案に対して適切に対応できる教育相談体制を整えている。	A	A	A
9 環境教育	整理整頓や掃除を丁寧に行い、校内を清潔に保つよう努めている。	A	A	A
	ゴミの減量化、節電などを通して、環境に配慮した生き方の意識を育成している。	C	A	A
10 事務・管理	教育活動に必要な備品や設備を十分に整えている。	C	A	A
	安心して学校生活を送れる環境や体制づくりに努めている。	A	A	A
11 その他 学校の取組み	教職員は保護者等の来校や電話に対して、ていねいな対応をしている。	A	A	A
	福祉健康コースの充実をはかり、地域に根ざした学校づくりを推進している。	A	A	A
	三雲養護学校石部分教室との交流をすすめ、施設・設備の効率的な共用に努めている。	A	B	B

(注) ・評価表の見方： 6月 学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
 10月 中間評価(自己評価)の公表(8月までの教育活動に対する中間評価) A B C Dの4段階評価で示す。
 3月 総合評価(自己評価・学校関係者評価)の公表(年間の教育活動に対する総合評価) A B C Dの4段階で示す。
 ・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
 ・A B C Dの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合(達成度80%以上)はA、おおむね達成できた場合(達成度60%以上80%まで)はB、あまり達成できていない場合(達成度40%以上60%まで)はC、達成できていない場合(達成度40%未満)はDとする。

学校評価アンケート分析、改善策

○学習指導「家庭学習が定着するよう計画的に宿題を出して指導している」

肯定的な評価 教員70.8%、生徒32.5%、保護者49.8%

- ・家庭学習の習慣が身に着いていない生徒が7割近くいるのが現状である。計画的に宿題を出し、家庭学習の習慣が定着するよう指導していきたい。また、生徒の進路目標を早期に確立させることにより、勉強に対する意識や意欲を高め基礎学力の向上に努めていきたい。

○学習指導「基本的な生活習慣の確立をめざす指導を適切に行っている」

肯定的な評価 教員91.3%、生徒64.1%、保護者84.8%

- ・教員、保護者は高い割合で指導をしているが、生徒自身は規則正しい生活ができていないと判断している。朝食を食べる習慣や、夜間のスマホの使用方法など根気強く指導していきたい。

○進路指導「勤労観・職業観の育成に努めている」

肯定的な評価 教員82.6%、生徒69.6%、保護者84.1%

- ・教員、保護者は勤労観・職業観の育成に取り組んでいると回答している割合は高いが、生徒の職業観の育成には、至っていない。3年間を見越したキャリア教育を充実させていく必要がある。

○特別活動等「生徒は部活動に熱心に取り組んでおり、学校は部活動の活性化に努めている」

肯定的な評価 教員65.2%、生徒64.3%、保護者64.8%

- ・部活動に参加している生徒の割合が61.5%である。参加している生徒は、日々熱心に活動しているが、参加していない生徒の評価は低い。この項目の評価を上げるには、部活動の加入率を上げる必要があるため、新入生の加入率を上げるよう保護者にも働きかけていきたい。

○学校図書館「生徒にとって身近な存在になるよう、教科やホームルーム等で図書館を積極的に利用している」

肯定的な評価 教員65.2%、生徒66.7%、保護者44.9%

- ・読書週間や学期末の時間割に読書の時間を入れることにより、読書率は上がった。図書館利用者が自ら読む楽しさや、学ぶ楽しさが体験できるようなイベントを開催し、図書館来館生徒数を増やしていきたい。保護者に対してもホームページやPTA新聞をとおして周知していきたい。

○事務・管理「教育活動に必要な備品や設備を十分に整えている」

肯定的な評価 教員56.5%、生徒92.3%、保護者83.3%

- ・教員の半数近くは、備品や設備に対して今まで以上に設備の充実を願っている。特にICTの充実に関する希望が多い。今後、GIGAスクール構想の運用により改善されると考えられる。

○その他学校の取組「福祉健康コースの充実をはかり、地域に根差した学校づくりを推進している」

肯定的な評価 教員95.7%、生徒77.5%、保護者63.6%

- ・教員は、地域に根差した学校づくりの推進に努力しているが、保護者に対しての発信ができていないので、ホームページやPTA新聞などを通して取り組み内容を発信していきたい。

○その他学校の取組「三雲養護学校石部分教室との交流をすすめ、施設・設備の効率的な共用に努めている」

肯定的な評価 教員73.9%、生徒56.3%、保護者68.8%

- ・昨年度に引き続き本年度も三雲養護学校石部分教室と合同で体育祭を実施した。良好な意見が多かったため、来年度も継続して行いたい。生徒はあまり交流を望んでいないが、インクルーシブ教育の視点に立ちより交流を深めていきたい。

令和3年度

石部高等学校 学校評価

本年度の重点目標

- ・ 基礎的・基本的な学力の定着を図り、生徒の進路希望実現に努める。
- ・ 規律と秩序を大切にし、活力あふれる学校生活の実現に努める。
- ・ 福祉健康コースの教育内容の充実と地域との連携を図るとともに、特色ある教育活動の情報発信に努める。
- ・ 各課や学年など分掌間の調整・連携をこれまで以上に密にして、組織力を強化する。

領域	重点評価項目	中間評価(10月)	総合評価(3月)	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1 学校経営	学校は、生徒、保護者、地域のニーズに合った魅力ある教育活動を展開している。			
	学校は、改善を重ねつつ校務運営を行い、信頼される学校づくりを推進している。			
2 学習指導	家庭学習が定着するよう計画的に宿題を出して指導している。			
	わかりやすい授業の工夫に努め、生徒が主体的に授業に参加できるよう取り組んでいる。			
3 生徒指導	基本的な生活習慣の確立をめざす指導を適切に行っている。			
	社会規範や常識的なマナーを身につける指導を適切に行っている。			
4 進路指導	いじめの早期発見・早期対応に努め、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。			
	個々の進路希望に応じた指導を行っている。			
5 特別活動等	勤労観・職業観の育成に努めている。			
	生徒は部活動に熱心に取り組んでおり、学校は部活動の活性化に努めている。			
6 学校図書館	学園祭や生徒会活動等の取組みの充実に努めている。			
	図書に関する情報提供の充実に努めている。			
7 保健・安全指導	生徒にとって身近な存在になるよう、教科やホームルーム等で図書館を積極的に利用している。			
	生徒の健康管理と病気の予防に努めている。			
8 人権教育	事故・ケガ・病気等への対応を適切に行っている。			
	教育活動全体を通して、人権教育を推進している。			
9 環境教育	様々な事案に対して適切に対応できる教育相談体制を整えている。			
	整理整頓や掃除を丁寧に行い、校内を清潔に保つよう努めている。			
10 事務・管理	ゴミの減量化、節電などを通して、環境に配慮した生き方の意識を育成している。			
	教育活動に必要な備品や設備を十分に整えている。			
11 その他 学校の取組み	安心して学校生活を送れる環境や体制づくりに努めている。			
	教職員は保護者等の来校や電話に対して、ていねいな対応をしている。			
	福祉健康コースの充実をはかり、地域に根ざした学校づくりを推進している。			
	三雲養護学校石部分教室との交流をすすめ、施設・設備の効率的な共用に努めている。			

(注) ・ 評価表の見方： 6月 学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
 10月 中間評価(自己評価)の公表(8月までの教育活動に対する中間評価) A B C D の4段階評価で示す。
 3月 総合評価(自己評価・学校関係者評価)の公表(年間の教育活動に対する総合評価) A B C D の4段階で示す。
 ・ 自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
 ・ A B C D の基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合(達成度80%以上)はA、おおむね達成できた場合(達成度60%以上80%まで)はB、あまり達成できていない場合(達成度40%以上60%まで)はC、達成できていない場合(達成度40%未満)はDとする。

学校のURL : <http://www.ishibe-h.shiga-ec.ed.jp/>